

2026年度 授業評価実施要領

1. 実施対象科目

原則として学部学生が受講している全授業科目（複数担当の科目を含む）

2. 日程（実施の流れ）

1) 「学生による授業評価」「教員による授業自己評価」の回答期間

春学期 2026年7月2日(木)～7月28日(火)

秋学期 2027年1月7日(木)～2月2日(火)

2) 「学生による授業評価」の結果に対するコメントの入力期間

「学生による授業評価」「教員による授業自己評価」の結果（この期間に閲覧できるのは自分の担当科目の結果と各種集計のみ）を閲覧して、「自由記述のまとめ」および「コメント」を入力する期間

春学期 2026年7月31日(金)～8月26日(水)

秋学期 2027年2月5日(金)～3月3日(水)

3) 「学生による授業評価」「教員による授業自己評価」の結果公開

「学生による授業評価」「教員による授業自己評価」の各集計結果および「学生による授業評価」の結果を公開。公開する項目は、「授業科目の基本情報」（科目名、担当教員名、開講曜日・時限、受講者数）、「集計結果」（回答者数、回答率、各設問の回答数、ポイント平均値）ならびに担当者が記入した「自由記述のまとめ」および「結果に対するコメント」。

春学期 2026年8月27日(木)～

秋学期 2027年3月4日(木)～

	2026年度 春学期日程	学生による授業評価		教員による授業自己評価	
		学 生	教 員	学 生	教 員
春学期実施の流れ(まとめ)	7月2日(木) ～ 7月28日(火)	授業評価 実施			授業自己評価 実施
	7月31日(金) ～ 8月26日(水)		集計結果閲覧 (担当分のみ)		集計結果閲覧 (担当分のみ)
			授業担当者は コメント等記入		
	8月27日(木) ～	結果公開(学生・教職員)			

	2026年度 秋学期日程	学生による授業評価		教員による授業自己評価	
		学 生	教 員	学 生	教 員
秋学期実施の流れ(まとめ)	1月7日(木) ～ 2月2日(火)	授業評価 実施			授業自己評価 実施
	2月5日(金) ～ 3月3日(水)		集計結果閲覧 (担当分のみ) 授業担当者は コメント等記入		集計結果閲覧 (担当分のみ)
	3月4日(木) ～	結果公開(学生・教職員)			

3. 「学生による授業評価」設問（8問）

※設問 A および B の 2 問は、学生自身への問いかけで授業評価の対象外。

設問 1（基本項目）：教員からの伝え方（話し方や文書・情報等）は適切でしたか。

設問 2（授業目的）：毎回の授業の主題・テーマが明確に示されていましたか。

設問 3（シラバス）：授業はシラバスに基づいた内容で行われましたか。

設問 4（熱意態度）：この授業に取り組む教員の熱意ある態度を感じましたか。

設問 5（授業方法）：授業を理解させるためのいろいろな手段・工夫は適切でしたか。

設問 6（授業運営）：教員は学生の反応を確かめながら授業を運営していましたか。

（補足説明） 質疑応答やメール対応など幅広く想定しお答えください。

設問 7（内容理解）：この授業の内容は理解できましたか。

設問 8（総合評価）：この授業は総合的に魅力的な授業でしたか。

設問 A（学習時間）：あなたはこの授業に必要な授業時間外の学習をしましたか。

設問 B（学習態度）：あなたはこの授業に意欲的・積極的に取り組みましたか。

自由記述：この授業について良かったところや改善してほしいことがあれば記入してください。

回答選択肢（カッコ数字は集計時のポイント）

a（5）：そう思う

b（4）：どちらかといえばそう思う

c（3）：どちらともいえない

d（2）：どちらかといえばそう思わない

e（1）：そう思わない

f（0）：回答不能（ポイントの集計対象外とする）

4. 「教員による授業自己評価」設問（8問）

※設問 A および B の 2 問は、学生に対する認識で授業自己評価の対象外。

設問 1（基本項目）：学生への伝え方（話し方や文書・情報等）は適切でしたか。

設問 2（授業目的）：毎回の授業の主題・テーマを明確に示しましたか。

設問 3（シラバス）：シラバスに基づいた内容で授業を行うことができましたか。

設問 4（熱意態度）：この授業に対し、熱意ある態度で取り組みましたか。

設問 5（授業方法）：授業を理解させるためのいろいろな手段・工夫をしましたか。

設問 6（授業運営）：学生の反応を確かめながら授業を運営できましたか。

（補足説明） 質疑応答やメール対応など幅広く想定しお答えください。

設問 7（内容理解）：学生に授業内容を理解させることができましたか。

設問 8（総合評価）：学生の立場に立った魅力的な授業ができましたか。

設問 A（学習時間）：学生はこの授業に必要な授業時間外の学習をしてきましたか。

設問 B（学習態度）：学生はこの授業に意欲的・積極的に取り組んでいましたか。

回答選択肢

「学生による授業評価」と同じ

5. 集計（「学生による授業評価」「教員による授業自己評価」とも）

集計は、それぞれ以下の計算式により、ポイントを算出する。

$$(\text{ポイント}) = (5 \times (\text{a の回答数}) + 4 \times (\text{b の回答数}) + 3 \times (\text{c の回答数}) + 2 \times (\text{d の回答数}) + 1 \times (\text{e の回答数})) \div ((\text{a の回答数}) + (\text{b の回答数}) + (\text{c の回答数}) + (\text{d の回答数}) + (\text{e の回答数}))$$

集計の種類

1) 授業科目別集計（一授業単位、「学生による授業評価」のみ）

2) 全体集計

3) 科目区分別集計

※一つの授業において科目区分が違う科目を同時に開講している場合は、それぞれの科目区分に分けて集計する。

4) 受講者数の規模別集計

① 30 人以下 ② 31 人以上 60 人以下 ③ 61 人以上 90 人以下

④ 91 人以上 120 人以下 ⑤ 121 人以上

5) 教員別集計（本人のみ閲覧可能）

※複数担当科目の結果も含んで集計する。

6. 担当部署ならびに問合せ先

中部大学 大学企画部

Phone 0568-51-4434（直通）

E-mail info-kikaku@fsc.chubu.ac.jp